

平成24年度 決算総額 54億7557万4千円を認定

西澤裕之氏を決算特別委員長に選任し、2日間の審査の結果、原案通り認定。
一般会計・特別会計の決算額については10月号の“ほろのべの窓”でお知らせしておりますので質疑応答について掲載しています。

一般会計

◆歳出

〔総務費〕

(植村委員) まちづくり事業研修は終了だったか。

(古草主査) 23年度からの3年間で11月にはまとめた成果を出せるかと思ってる。

(植村委員) 集会施設の管理費・経費の節減とは？

(角山主査) プロパンガスを小型化とし、屋内設置に替えて固定費を節減。

(斉賀委員) 町賃貸住宅改修事業の成果は。

(山下主査) 17年経過したので外からの湿気を防ぎ、落雪しやすく葺き替え。雪印工場に研修に来られる方達のために提供する必要性がある。

(鷺見委員) エネルギー関連施設見学会参加者の選考基準と参加状況は。

(角山主査) 基本的には、参加したことのない児童生徒や、次年度以降参加チャンスが少くなる方を優先してきた。

〔衛生費〕

(佐々木委員) 旧サロベツ清掃組合に今なぜ修繕費が発生するのか。

(伊藤主幹) 私有地に建てたモニタリング坑の改修費。

(植村委員) 我が町での子宮頸がん予防接種の状況は。

(細野所長) 25年度対象者は中学一年7名、中学二年1名だったが、接種後の弊害報道前後に計2名接種。本町では重篤な被害報告はない。

〔農林水産業費〕

(斉賀委員) 有害鳥獣駆除対策の実績は。

(桜井主幹) 鹿419頭、キツネ39頭。アライグマは59頭。

〔消防費〕

(鷺見委員) 耐震診断、耐震改修の補助制度はリフォームとセットにしなければ進まないのでは。

(宮本町長) 耐震もバリアフリーも利用者がなかった。リフォームもセットになると、補助率の問題もあ

り今後考える。

〔教育費〕

(植村委員) スキー場圧雪車の状況は？

(大村主幹) 新車で購入した圧雪車は、耐用年数10年のところ20年経過し、運行時間は4千791時間。部品の供給問題もあり、今後検討する。

◆歳入

(斉賀委員) 町税等の最終的な収納率と滞納件数、不能欠損額の出た理由は？

(飯田会計課長) 町税の収納率は町民税で%・3%、固定資産税98%、軽自動車税96・8%、たばこ税100%で町税全体で97・5%の収納率。滞納件数は105件で総額2千2百28万8千円となっている。

〔伊藤主査〕

不能欠損の件数は2件で、内容は地方税法の規定による生活困窮による施行停止で3年を経過したため不能欠損処理した。その総額は町民税、国民健康保険税の合計24万6千5百87円。

(無量谷委員) 町税の収納

対策についての考え方を伺いたい。

〔西尾副町長〕

職員による町税対策推進本部を立ち上げ、情報と課題を共有し、それぞれの部署が連携・協力して収納対策を実施している。対象者の補助金などは行政サービス制限条例に基づいて支出の制限をしている。

◆総括

(吉原委員) 衛生費での予防事業に癌の早期発見を目的としたPET検査を加えてはどうか。

(宮本町長) 町は今、癌検の関係では6種類の検診を行っている。北海道で3ヶ所しかないPET検査はまだ料金も高く、保険適用外なので、今後の自治体などの状況も含めて調べて行きたい。

(鷺見委員) 最近繰越金額が非常に高額になっている。町としての考え方を伺いたい。

(飯田会計課長) 平成23年度1億7千7百万円、平成24年度2億2千万円と繰越額が大きくなっている。